２　事業の概要と成果	
（１） プロジェクト目標の達成度（今期事業達成目標）	【プロジェクト目標】 ニエリタウン保健センターで分娩を含む母子継続ケアの安全な保健サービスへのアクセスが改善する。 【目標達成度】 産科棟の建設と医療従事者の能力強化を行い、母子継続ケアの安全な保健サービスへのアクセスを改善する基盤が整いつつあり、対象コミュニティにおいて改善の兆しも確認できた。(「（３）達成された成果」に記載の指標 1-3 及び 1-4 の改善に基づく) 【今期事業達成目標】 ニエリタウン保健センターに産科棟が建設されサービス提供体制が整う。 【目標達成度】 計画通り、ニエリタウン保健センターにおける産科棟の建設と、医療従事者の研修等を通し、サービス提供体制を整えた。
（２）活動内容	2022 年 3 月 31 日から 2023 年 6 月 30 日までの事業内容は下記の通り。 **1-　1～2 年次：ニエリタウン保健センターの産科棟整備** 1-1. ニエリタウン保健センターに産科棟を建設。 1-2. 上記産科棟で使用する医療器材の調達準備。 **2-　1～2 年次：ニエリタウン保健センターとニエリカウンティ総合病院の医療従事者の能力強化** 2-1. ニエリカウンティ保健局の講師による、ニエリタウン保健センターをはじめとする計 6 か所の事業対象医療施設のスタッフを対象とした感染予防対策研修実施。 2-5. ニエリカウンティ保健局の講師による、全ての母子にとって最も望ましいケア（RMC: Respectful Maternity Care）研修実施。 2-6. 母子保健サービス提供における患者への接遇改善を目的とし、母子保健サービスの質向上専門家による、ニエリタウン保健センターを含む全対象施設における RMC 実践状況のモニタリング・指導を実施。 2-7. 患者の待ち時間軽減を含む保健サービスの質改善を目的とし、ジョイセフの矢口真琴専門家による、全対象施設のスタッフを対象とした 5S 研修を実施。 **3- プロジェクト全体：プロジェクト運営管理** 3-1. ジョイセフ本部スタッフの Emmanuel Obeng を派遣、プロジェクトのモニタリング・評価計画の立案、実施体制の整理と定期モニタリング実施。 3-2. ニエリカウンティ保健局関係各部、対象施設スタッフ等プロジェクト関係者とキックオフ・ミーティング実施。 3-3. ニエリカウンティ保健局保健局長及び関係職員、ニエリカウンティ政府公共工事部門事業部長及び関係職員、ニエリタウン保健センター施設長、地域保健ボランティア及び若者ピア代表者から成るプロジェクト運営委員会設置。 3-4. プロジェクト運営委員会定例会合を 2 回実施し、プロジェクト進捗状況、課題への対応、今後の計画を協議・合意した。 3-5. プロジェクト運営委員会会合でモニタリング・評価計画に基づいた成果指標を基に進捗を確認した。 ※添付資料：モニタリング・評価計画、プロジェクト運営委員会会合発表スライド - 1 年次の事業進捗及び 2 年次の事業計画について（2023 年

	5 月 26 日開催時）
（３）達成された成果	**成果 1**：ニエリタウン保健センターに分娩施設のある産科棟が整備され、同センターのサービスの質が向上する。(1～2 年目) **（指標 1-1）ニエリタウン保健センターに産科棟が建設される（1 年次）** 長雨による作業遅延、建築資材の調達と搬入に時間を要したことが原因で工期が遅れたが、1 年次事業期間を 2023 年 6 月まで延長し、産科棟の建設が完了した。施工監理はニエリカウンティ政府公共工事部門の設計士と積算士が、建設工事の質の担保はジョイセフ現地事業責任者が日本人専門家（建設アドバイザー）の助言のもと行った。2022 年 12 月 6 日～15 日に同日本人専門家を派遣し、現場視察をもって工事品質のチェックも行った。 **（指標 1-2）建設された産科棟に医療器材が設置される（2 年次）** 2 年次の医療器材の調達に向けて、ニエリカウンティ保健局長及び臨床工学技士と、供与機材の仕様と数量の最終調整を行った。 **（指標 1-3）ニエリタウン保健センターの医療スタッフの接遇を含めた保健サービスの質に満足したと回答する患者がベースライン 82%から 15%向上する。(1 年次、2 年次)** ニエリタウン保健センターでサービスを利用した患者へのインタビュー調査（出口調査）で保健サービスの質に満足したと回答した患者は 91%（9%向上）であり改善が見られた。 **（指標 1-4）ニエリタウン保健センターに近接する 3 つのスラム（マジェンゴ、ウィテメレ、キアワラ）の出産可能年齢の女性への事業前後の質的調査において、保健施設のスタッフの接遇を含めた保健サービスの質、施設までの距離が理由で自宅分娩を選択する人の割合が減る。** 2023 年 3 月に行ったスラムの女性へのインタビュー結果は以下の通り。保健施設のスタッフの接遇、サービス利用にかかる長い待ち時間を理由に自宅分娩を選択する女性の割合の改善が見られた。一方で、近隣の保健施設で分娩が出来ないことを理由とする女性の割合は 5 ポイント増加した。本事業 1 年次にニエリタウン保健センターに建設した産科棟での分娩サービスが 2 年次から開始されるため、今後の改善が期待される。 【スラムの女性へのインタビュー結果】 **成果 2**：ニエリタウン保健センターとニエリカウンティ総合病院の医療従事者の能力が強化される。(1～2 年目) **（指標 2-1）ニエリタウン保健センターのスタッフに包括的感染予防対策研修が実施され、正しい個人防護具の着脱や施設内ゾーニング等が習得される（１年次）** 2023 年 2 月 7 日～9 日に医療従事者 24 名、2023 年 5 月 2 日～5 日にニエ

	ベースライン	直近の結果
保健施設のスタッフの接遇を含めた保健サービスの質		
理由①　保健施設のスタッフの接遇（フレンドリーサービス）が悪い	46%	28%
理由②　保健施設でサービスを受けるのに長い待ち時間がかかる	53%	25%
施設までの距離		
理由①　近隣の保健施設で分娩が出来ない	63%	68%

<table>
<tr><td></td><td>リカウンティ保健局スタッフ 20 名に対して感染予防管理研修を実施した。研修参加者に研修受講前後に行ったテストの平均スコアは、研修受講後に 29 ポイント（2023 年 2 月実施分）、14.5 ポイント（2023 年 5 月実施分）上昇し、理解度の向上が見られた。
※添付資料：感染予防対策研修プログラム、研修報告書

（指標 2-4）ニエリタウン保健センターとニエリカウンティ総合病院ですべての母子にとって最も望ましいケア（RMC: Respectful Maternity Care）を提供する。（1 年次、2 年次）
2023 年 9 月 19 日～21 日、医療従事者 22 名に対して RMC 研修を実施した。研修参加者に研修受講前後に行ったテストの平均スコアは、研修受講後に 11 ポイント上昇し、理解度の向上が見られた。また、母子保健サービスの質向上専門家を派遣し、ニエリタウン保健センターをはじめとする計 3 か所の事業対象医療施設を専門家が視察、その結果に基づき、2022 年 11 月 17 日に全 6 対象施設の医療従事者の参加の下、母子保健サービスの質向上のためのワークショップを行い、各施設の行動計画の改訂を行った。
※添付資料：RMC 研修プログラム、講義スライド、研修報告書、母子保健サービスの質向上のためのセッションと発表資料、各施設の行動計画

（指標 2-5）ニエリタウン保健センターとニエリカウンティ総合病院で施設管理・サービス提供環境が改善され、業務の効率向上、ミス・事故の防止、施設スペースが有効活用するための医療従事者の能力が備わる。（１年次、2 年次）
2023 年 10 月 25 日～27 日、医療従事者 28 名に対して 5S 研修を実施した。研修参加者に研修受講前後に行ったテストの平均スコアは、12 ポイント上昇し、理解度の向上が見られた。モニタリングシートを使ったニエリタウン保健センター及びニエリカウンティ総合病院のスコアの推移は以下の通り。両施設共に改善が見られている。
<table>
<tr><td></td><td>ベースライン</td><td>直近の結果（2023 年 5 月）</td></tr>
<tr><td>ニエリタウン保健センター</td><td>72 点</td><td>85 点</td></tr>
<tr><td>ニエリカウンティ総合病院</td><td>41 点</td><td>79 点</td></tr>
</table>
※添付資料：5S 研修プログラム、研修報告書、大使館への報告スライド、各施設のモニタリング結果</td></tr>
<tr><td>（４）持続発展性</td><td>ニエリタウン保健センターに建設した産科棟はニエリカウンティ保健局が責任を持って、必要な医療従事者の配置、施設の運営維持管理を行っていく旨、ニエリカウンティ保健局、ニエリカウンティ政府との基本合意書で規定されている。2 年次に調達する医療器材、焼却炉、発電機の設置が完了し、同産科棟におけるサービスの提供が開始された後、ニエリカウンティ保健局長と臨床工学技士を中心に持続発展に向けた計画を策定し、施設の運営管理と医療器材のメンテナンスの方法、実施者、頻度、必要財源、等を明文化する。本事業 2 年次の後半に同計画の実施を開始し、課題が見られる場合は同計画に必要な改訂を行い、事業終了時には実行可能性が担保された計画とその運営体制が整備された状態とする予定である。

サービスの質の担保においては、1 年次に実施した医療従事者の能力強化研修の成果の発現状況をモニタリング活動により評価し、観測された課題とその改善対応について、四半期に一度開催するプロジェクト運営委員会会合で協議する。モニタリング活動は、1 年次より、当団体事業スタッフではなく、ニエリカウンティ保健局の各サービス担当を中心に協働で実施</td></tr>
</table>

	しており、本事業終了後も事業の成果が継続的にモニタリングされる体制を強化する。 RMC、5S については、2 年次に再研修を予定しており、学びの定着を図ると共に、カイゼンの導入により、医療従事者主体で継続的にサービスの質をモニタリングし、その結果に基づいた改善のサイクルを回していかれるよう、技術移転を行う予定である。